



10月の園だより

令和5年10月2日

目黒区立田道保育園長

毎朝、子どもたちは元気に登園してきます。ピーク時になると玄関はとてにぎやかになり、今日も一日が始まることを嬉しく感じています。1歳児クラスのお子さんが登園してきて、お父さんが靴を脱がそうとすると「じぶんで」と履いてきた靴を脱ごうとしています。お父さんはお子さんの気持ちに寄り添い、見守っていました。しかしなかなか脱げず、泣き出してしまいました。もう一度手を貸そうとしますが、「じぶんで」と泣きながらも脱ぎ始めます。靴を脱ぐことができるとお父さんは「できたね」と笑顔で声をかけていました。我が子の気持ちにしっかりと寄り添っている光景を見て微笑ましく感じました。保護者にとって朝の忙しい時間であったと思いますが、子どもにとっては心の成長につながる貴重な時間であると感じました。私たち職員も子ども一人ひとりに寄り添い、尊重しながら保育を進めていきたいと改めて考えさせられました。

運動会は田道小学校をお借りして開催しました。子どもたちは意欲に溢れ、笑顔いっぱいに取り組み、会場の保護者の方の温かい拍手の中で一人ひとりが輝いて見えました。

運動会の参加ありがとうございました。



秋の健康診断 芋ほり遠足
※身体測定、避難訓練



♪おさんぽにいこう♪

田道保育園では園庭遊びだけでなく、地域にある公園にも散歩に行き遊んでいます。どんぐりがたくさん拾えたり、丘になっている芝生の上で遊べるクリーン公園では芝生の感触を楽しみながら遊べたり、秋の季節になるにつれていちょうの葉がたくさん落ち始めます。するとあたり一面黄色の絨毯ができ、その上を歩くとカサカサ音が鳴ったり、葉が舞うようにして遊んだりこれから時期、散歩での遊びも楽しくなってきます。また、クリーン公園は同じ公園でも芝生の奥に進むとどんぐりの木があります。かくれんぼをしたり、どんぐりの大きさや形の違うものを見つけて集めたり、探したりと新しい発見も楽しめます。その他にも広場でおいかっこなどたくさん走って遊べる田道広場、探検や探索の楽しい区民センター、中目黒公園に行き遊んでいます。幼児クラスは中目黒公園まで目黒川や桜の変化を感じながら散歩しています。これからの時期ならではの遊びを散歩先でも楽しんでいきますので散歩に行った際には子どもたちからお話を聞いてみてください。



中目黒公園



クリーン公園



田道広場



～お部屋で何して遊んでるかな～



子どもたちの室内遊びの様子をご紹介します。

『みんなでごくごく』

0歳児クラス（めだか組）

保育士や友達の真似をして遊ぶ姿が見られるようになってきた子どもたち。保育士と一緒にチェーンリングが入ったカップを飲み物に見立てて飲んだり、クマのぬいぐるみにも飲ませて遊んでいました。それを見ていた子が近くにあったカップを持つと、同じようにごくぐくと飲んでは「あー」と美味しそうな声を出しています。保育士が「おいしいね」と言うとその様子を見て、いつの間にか周りには這い這いやずり這い、歩いて子どもたちが集まってきました。それぞれカップを手に「ごくっ」と飲む真似をしてはあちらこちらで「あー」という声が聞こえています。保育士がカップを「どうぞ」と差し出し、飲む真似を繰り返し楽しんでいる内に友達や保育士にも飲ませてくれようとしたりと飲む真似をしてわざわざ遠くにいる友だちにもふるまったりして一緒に楽しんでいます。4月から同じ空間で一緒に過ごしてきたクラスの友達に気が付いて何をしているのかな？と同じことをしたりして和やかな雰囲気の中で遊んでいます。



『 いっしょがうれしい 』

1歳児クラス（あひる組）

Aさんはお世話遊びが好きでうさぎの人形と布を持ち、“とんとん”寝かしつけています。その様子が気になり、Bさんも隣に行きますが同じことをして遊びたいけどどうしたらよいかわからない様子。保育士が「Bさんも一緒にうさぎさんトントンする？」と声をかけると頷くBさん。そこでAさんと同じうさぎや布団をBさんと一緒に探し、見つけるとAさんの隣に行き、同じよううさぎを寝かしつけ始めました。Aさんの隣に座り、一緒に遊び始めると“私これがしたかったの”という表情で保育士を見ているので「一緒だね」と言うのにつっこり嬉しそうでした。だんだんと友達へ興味が出てきて、友達のやっている遊びに目を向け、どんな遊びをしているのか見ていたり、同じことをやってみたいなという気持ちが出てきています。その思いを大切に見守ったり、保育士と一緒に遊びながら「たのしい」「一緒」をたくさん増やしていきたいと思います。



『 いらっしゃいませ 』

2歳児クラス（らっこ組）

ままごとコーナーで何やら料理作りをしています。井型ブロックの長方形スティックをカップに入れていました。作り上がったところで「いらっしゃいませ～」という声とともにお店屋さんが始まりました。保育士と友だちで一緒にお店に行き「これはなんですか？」「ポテトです」とやりとりをしています。「ポテト3つください」「50円です」と言うと、「ピッピッ」と商品のバーコードをかざす動きをしてポテトを渡します。お会計になると「ピッ」とタッチ決済でお会計。コインで払いたい子には井型ブロックの丸いブロックをコインに見立てて用意して支払いをしたりとやりとりを楽しんでいます。今度は子どもたちがお客さんになり、保育士が店員になりました。「袋入りますか？」と声をかけると「バッグ持ってます」と自分でエコバッグを持って買い物に来ていて、今時らしい買い物を再現しながら遊んでいる子どもたちです。子どもたちそれぞれがお休みの日など日頃の体験からパン屋さん、ケーキ屋さん、おもちゃ屋さんになりきっています。やりとりが楽しくなっているの子どもたちの持つイメージを大切にしながら保育士や友達とのごっこ遊びを一緒に楽しんでいます。

